

「宇宙工学講座」開講式に参加しました

7月6日(月) 岐阜県の高校生に向け、将来の航空宇宙産業を支える人材育成を図る講座の開講式が開かれ、本校理数科3年生の生徒が、受講生46名を代表して挨拶をさせていただきました。

「大学で航空宇宙工学を学び、将来は一般人が気軽に宇宙を行き来できるロケットの開発に携わりたい。未来の自分の背中を押す力を身に付けたい。」(一部抜粋)

この講座は、岐阜大学が、高大連携事業の一環として、航空宇宙生産技術開発センターの協力のもと、岐阜県や岐阜かかみがはら航空宇宙博物館などと協力して、月2回オンラインにより実施するものです。開講式は、当初大学で実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、オンラインでの実施となりました。

12月までに9回行われる予定で、テーマは、「地球サイズの望遠鏡で宇宙を観る」、「世界の宇宙開発と日本の計画」、「人工衛星の制御エンジン」など、興味を引くものばかりです。テレビ会議システムを利用することで、受講生は、疑問点を質問しながら学んでいくことができます。

